

【福島県田村市】

市立小学校及び中学校に係る校務 DX 計画

田村市においては、デジタル校務(校務支援システム)とファイルサーバーの活用を中心に校務 DX に向け取り組んでいる。

代表的な下記の実施の他、文部科学省が定める「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」及び福島県教育委員会が定める「教職員働き方改革アクションプラン」等を踏まえ、継続して校務の DX に向けた取り組みの改善等を行う。

記

1 教育情報セキュリティポリシーの策定

- ・文部科学省が策定した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に基づき、クラウド環境等に対応するため、田村市教育情報セキュリティポリシーを策定した。
- ・今後も国の方向性や現状等を把握しながら、随時見直し等を行う。

2 デジタル校務を活用した勤怠管理による働き方改革の推進

- ・出退勤時における QR コードリーダーを導入し、教職員の出退勤時刻の打刻を簡易化することで、適正な勤怠管理を実現し、教職員の勤務時間等の働き方改革に資する。
- ・今後もデジタル校務の機能について、研修を重ねより効果的な校務 DX を目指す。

3 ファイルサーバー導入による学校負担の軽減と情報セキュリティの向上

- ・各学校で管理していた校務用サーバーを田村市役所庁舎内に統合し設置したことで、サーバーを市教育委員会で管理し学校負担を軽減するとともに、クラウド上でのデータ管理により、教育情報セキュリティの向上につなげた。

4 クラウドサービスを用いた文書の削減や調査・アンケートの集計業務の削減

- ・教職員働き方改革アクションプランに基づき、FCS のデータ共有機能を活用した、市教育委員会からの発出文書削減に努めている。
- ・クラウドサービスを用いて、保護者や児童生徒への調査・アンケート等を実施し、集計業務等の軽減を図る。
- ・職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化を行う。

5 次世代型校務支援システムの導入検討

- ・市立学校においては、令和 5 年度よりプライベートクラウド上で運用する統合型校務支援システムを利用しているが、文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入を検討するための情報収集を進める。
- ・福島県からの情報に基づき、次世代型校務支援システムの導入に係る協議を行う。